

一応供覧	文書 分類		保存 年限	1 3 5 10 永
議長	局長	書記	主任	担当

1号様式

令和6年5月28日

津南町議会議長 恩田 稔 様

議席番号 3 番

議会議員 村山 郁夫



### 一般質問の通告について

令和6年6月12日開会の第2回定例会に下記のとおり一般質問をしたいので、津南町議会会議規則第61条第2項の規定により通告します。

記

質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
観点A 旧建設計画時にどれだけ検討されたか】	<p>保育園問題について町の総合振興計画が前建設計画のときにどれだけ実現されようとしていたのか、また、今後の新建設計画にどのように生かされ、実現していくのかを問うもので、主にソフト面から、</p> <p>A 旧建設計画にどれだけ検討されたか B 新建設計画では何を検討すべきかの観点から質問します。</p>	教育長
I 相談支援体制	<p>1 子育て世代包括支援センター（平成29年母子保健法改正による設置努力義務）の整備状況はどのようなでしたか。 &lt;新振興計画第1節2（1）ア&gt;</p> <p>2 平成18年に保健センター内の活動を開始した子育て支援センター（児童福祉法）について不都合な点を具体的にどのように改善しようとしていたか</p>	

	<p>事例を挙げてください。</p> <p>3 ファミリー・サポート・センターは厚生労働省が以下の例を示していますが、どのように検討しましたか。</p> <p>(引用:雇用均等・児童家庭局 育児に関する援助活動の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急な残業の場合に子どもを預かる。</li> <li>・保育施設までの送迎を行う。</li> <li>・保育施設の開始前や終了後又は学校の放課後、子どもを預かる</li> <li>・冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際、子どもを預かる。</li> </ul> <p>&lt;新振興計画第1節2(3)ウ&gt;</p> <p>4 平成19年より一次保育サポーターから専門保育士を配置しましたが、民間協力の体制整備と維持も旧振興計画では謳われています。どのように進展していましたか。</p> <p>5 子育て支援センター専門員と子育て支援班内の専門職員(旧振興計画では「教育指導主事」と表記)はどのような連携を考えていましたか。</p> <p>6 園と併設した形での「母子通所施設」において「障がい傾向児」と「家族」との療育相談から関わり指導まで専門的</p>	
--	---	--

	に対応できる体制（当時は十日町市つくし園）整備がどう進んでいたのでしょうか。<旧振興計画>	
II 多様性を育み、生きる力につながる保育の実践	<p>1 自然環境を生かした保育の実践についてはどのように考えていましたか。 &lt;新振興計画第1節2(2)ア&gt;</p> <p>2 社会の多様性、集団生活のルール、友達や周囲とのかかわりを経験する最初の場であることについては統合によりどのように実現できると考えていましたか。 &lt;新振興計画第1節2(2)イ&gt;</p> <p>3 延長・早朝の時間について、延長保育によって「早寝早起き朝ごはん」の目標と整合するかどうかの検討はされましたか。 &lt;新振興計画第1節2(2)ウ、旧振興計画&gt;</p> <p>4 休日保育の検討（特に日曜保育）についてはどのように検討しましたか。 &lt;新振興計画第1節2(2)ウ、旧振興計画&gt;</p>	教育長

III 前建設設計画の個別検討	<p>1 認定こども園の検討についてニーズの調査はしましたか、また採用しなかった理由は何ですか。</p> <p>2 人員体制について支援センター・保育園・学童保育業務は施設整備後に一体的なシフトを組み、体制の強化・勤務体制の平準化を図るとありましたが、どのように実現するつもりでしたか。      &lt;旧振興計画&gt;</p> <p>3 職員配置人数試算について、      (1) 混合保育解消策の内容はどのようにでしたか。      (2) シフト制のシミュレーションはしましたか。      (3) 統合後の総職員の職種別入数はどのように変化すると試算しましたか。</p> <p>4 園統合による通園方法についてどのように計画していましたか。      (1) 保護者が私車で送迎する道路動線      (2) 公車で保育園児を送迎する場合の対象者の基準      (3) 学童保育と園児が同一家庭の場合の送迎</p>	教育長
-----------------	---	-----

	<p>5 学童保育を実施する場所の検討と指導者の選任をどう考えていましたか。 (学校利用の場合は管理・監督責任も含めてください。)</p>	
<p>【観点 B 新建設設計画では何を検討すべきか】</p> <p>I 新建設設計画の個別検討</p>	<p>1 建設完成までの各園の維持修繕、環境改善計画について急を要する修繕・改修は当然行うのですが、現状で不都合のある設備・環境は新建設設計画で解消できるように関係者の意見を集約していますか。</p> <p>2 閉園後の施設利用計画の検討状況はどうですか。</p> <p>3 地域住民との協議経過（北部、わかば、上郷）はどのように推移していますか。</p> <p>4 小学校統合との時期の調整（上郷小、芦ヶ崎小）はどのように進んでいますか。</p> <p>5 森林環境譲与税の使途として木材利用があり、園整備のなかで活用することで独自財源が利用可能と思いますが、基金等の設置は考えませんか。</p>	教育長

	<p>6 一室2人専任体制や現職員のシフト制の採用により基準以上に充実した人員配置で安全で安心できる体制が必要ですがどのように考えていますか。</p>	
	<p>7 病児・病後児保育について津南病院との連携について検討していますか。</p>	
	<p>8 保護者、保育士、子育て支援センター職員の考え方の集約は済んでいますか。</p>	